



第42回定期大会 下雅意委員長あいさつ②

次に、戦後 80 年についても触れておきます。東京地本では、戦後 80 年という節目に当たり、改めて沖縄の地で平和について学ぶことを目的として、4 月 22 日～24 日の 2 泊 3 日で沖縄平和研修を実施してきました。入口付近の壁に研修報告として、訪問した場所の説明やその場に立って感じたことなど各自の率直な思いを模造紙に綴っていますので是非ご覧いただきたいと思います。一番左側には 6 月 23 日の慰霊の日に現地で配布された沖縄の新聞各紙の特別号も掲示していますので、併せてご覧ください。研修に参加した代表者の思いは全て研修報告の模造紙に込められていますので、敢えてこの場で多くは語りません。この場にお集まりいただいている一人一人が研修報告を通じて沖縄の現状に触れていただき、何か一つでも感じ取っていただけたらありがたいです。パソコンで作成するのが当たり前になっている現代だからこそ、自分たちの思いを伝えるために「手書き」にこだわりました。そのあたりの思いも踏まえながら、ひょっとしたら手書きで情報を作っていた時代を懐かしいと思っていただける方もいるかもしれませんので、各自色々な思いを抱きながらご覧いただけますと幸いです。



また、本日は鎌倉車両センターから東京総合車両センターへの転勤に伴い新たに東京地本の仲間に加わってくださった小林さんと、今後東京地本と共に活動していくこととなる水戸地本からも肥後さんが傍聴で来てくださっています。大会終了後には懇親会も計画しておりますので、東京地本の雰囲気を感じていただけたら嬉しく思います。本日までご参加の皆さまにおかれましても、小林さんと肥後さんを歓迎するとともに、活発な質疑により今大会を盛り上げていただくことをお願いします。

最後に、先日東京地本に 1 名の新たな仲間が加入しましたので、この場で報告します。新たに加入してくださった方は、JR 東日本武蔵小金井駅暴行事件の裁判に関する新聞記事を見て、「会社の隠ぺい体質が許せない」という強い気持ちを持って我々と共にたたかっていくことを決意してくれました。先ほど午前中に開催された執行委員会において、東京地本としても一緒に支え、会社の隠ぺい体質を明らかにするためたたかっていくことを満場一致で確認しました。是非この場にお集まりの皆さんにおかれましても、「JR 東労組に入ってよかった」と思ってもらえるよう、温かく迎え入れていただくことをお願いしまして、開催にあたっての私からの挨拶とします。本日はよろしくお願ひします。

